



第1章

20年間のあゆみ



●平成13年度（2001年度）

合併の経過

- 平成2年11月1日 ▼ 中野市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、飯山市、豊田村、栄村の7森林組合で「北信地区森林組合広域化推進研究会」が組織され、合併の必要性、合併組合の目指すべき姿などの研究が開始されました。
- 平成12年4月12日 ▼ 研究会の成果を受け、栄村森林組合を除く6組合の広域合併を推進する「北信地区森林組合広域合併推進協議会」が設置され、合併するための条件整備等についての協議が開始されました。
- 平成13年6月26日 ▼ 合併推進協議会において、6組合の合併が決まり、合併予備契約の調印式を行うこと、合併組合の名称を「北信州森林組合」とすることが決定されました。

平成13年7月6日 ●合併予備契約調印式



合併予備契約の調印式が飯山市「ホテルほていや」において、北信地方事務所長、関係6市町村長立会いのもと、6組合長により行われました。調印式後、同会場にて盛大な祝賀会が行われました。

- 平成13年8月3日～8日 ▼ 6組合の臨時総会が開催され、賛成多数で合併並びに合併組合の事業経営計画書等が承認されました。
- 平成13年9月26日 ▼ 第1回北信州森林組合設立委員会が開催され、設立日の決定及び定款、規約の承認などが行われました。

主な出来事

長野県林業関係
コンクール受賞

▲ 間伐の部
山ノ内町 佐野区
県知事賞



ネットワーク構築

合併組合の業務効率向上のため、ネットワーク構築により情報の一元化を行い、組合情報の共有や組合員サービスの向上を図りました。



- 6月 6組合の合併が決まり、合併組合の名称を北信州森林組合に決定
- 7月 合併予備契約調印式
- 10月～11月 本所改修工事
- 12月 北信州森林組合設立・開所式
小山邦武初代組合長就任

■北信州森林組合

- 平成13年10月25日 ▼ 第2回北信州森林組合設立委員会が開催され、組織機構、諸規定の決定等が行われました。
- 平成13年11月7日 ▼ 第3回北信州森林組合設立委員会が開催され、役員報酬の決定、合併組合の財産目録及び貸借対照表の承認等が行われました。
- 平成13年11月16日 ▼ 第4回北信州森林組合設立委員会が開催され、合併組合の人事等が決定されました。初代代表理事組合長に小山邦武氏、副組合長に中山茂樹氏、富井喜義氏が選出されました。

●開所式・合併祝賀会



平成13年12月1日、本所(飯山市新町庁舎)にて、北信州森林組合開所式が行われました。6市町村の森林組合が一つとなり、中核的な森林の担い手を目指し、第一歩を踏み出しました。合併により、組合員数6,507人、組合員経営森林面積33,539haとなりました。

開所式終了後、飯山市びっくわんホールにおいて、来賓、役職員等80余名が出席し、組合発足祝賀会が盛大に開催されました。



パソコン教室

平成13年4月より、合併に先立ち週1回、北信地方事務所林務課職員による「林務課夜間学校」が12回開催されました。

職員・技能職員の希望者が、コンピューターの基本操作から電子メールによるファイルの送信等、事務処理に必要な内容を学びました。各人が奮闘し仕事で使えるまでとなりました。

このことが、当組合のICTの先進的取組みの基礎となりました。



主な出来事

- 5月 ■森林・林業関係
ふるさとの森づくり県民の集い (第52回長野県植樹祭) (長野市)
- 6月 林業労働力確保対策の推進
「新たな入札制度」スタート
「森林整備技術者養成講座」スタート
森林・林業基本法制定
- 7月 森世紀創造シンポジウム21開催 (長野市)

- 2月 ■地域
堀米三男選手、ソルトレーク五輪4種目出場
- 10月 豊田村役場庁舎新築決定
- 9月 7市町村で「世界の人と花フェスタin北信濃」
- 6月 山ノ内町観光連盟発足

- 4月 ■国内
小泉政権発足、「聖域なき構造改革」スタート
- 9月 「東京ディズニーシー」オープン
- 9月 国内初のBSE感染牛確認
- 10月 テロ特措法成立、11月海上自衛隊艦艇インド洋へ
- 10月 アップルiPodを日本で発表
- 11月 JR東日本「Suica」導入
- 12月 雅子さま、愛子さまご出産